

理 事 会 議 事 要 旨	
会 議 名	2010 年度第 5 回理事会
日 時	2011 年 4 月 9 日(土) 11:00~17:00
場 所	西宮市市民交流センター 会議室/調理室
参 加 者	理事) 側垣 田上 家本 角田 大野 島村 横山 監事) 石田
欠 席 者	監事) 能島
事 務 局	重松 長谷
議 案	<p>1.【報告事項】</p> <p>(1)事業部門報告 2月以降の事業報告 トレーニング委員会 『Strategies for Free Children』の翻訳について 2011 年度助成金応募状況報告</p> <p>(2)申出書への対応報告</p> <p>(3) J-CAPTA に関連する報告</p> <p>(4)管理部門報告 トレーナーの選考と評価に関する委員会</p> <p>2.【審議事項】</p> <p>(1)管理部門 愛知県岡崎市における委託事業の契約について 佐賀県佐賀市における CAP 活動について 2011 年度覚書(MOU)案 今後の事務局体制・事務局運営について</p> <p>(2)2011 年度定時総会議案作成に向けて</p> <p>(3)総会議案について</p> <p>(4)アピール文の作成について</p> <p>3.【その他】</p> <p>(1)定款・細則を考える委員会</p> <p>(2)2011 年度理事会日程</p> <p>(3)東日本大震災への対応について</p>
【報告事項】	
(1) 事業部門報告 2月以降の事業報告	<p>第 4 回理事会以降の事業について、事務局より報告が行われた。</p> <p>第 1 事業：SP 研修を東京で 2 日間開催した。養成講座実践編(東京)の 1 日目に地震が発生し、受講者の希望を伺い、講座は継続した。途中で参加を取りやめられた方には、2011 年度に受講振替の連絡をしている。資格更新のための必須研修「トークタイム研修」を愛知県で実施した。RTC リーダーズ研修(TOST 修了者、プレ TOST 修了者およびグループのリーダー対象)の実施予定を、震災の影響を勘案し、中止した。</p>
トレーニング委員会	<p>各部門で実施した会議等について、トレーニング委員会委員の重松より報告が行われた。</p> <p>「障がいのある子どもへの CAP チーム」会議では、2011 年度は SNP 養成講座を実施せず、フォローアップの研修を実施することを決定した。</p> <p>プレトレーナーは、3 月以降会議を重ね、就学前プログラム講座実施のための準備を進めている。就学前プログラム講座は 3 日間で行うことを決定した。</p>
『Strategies for Free Children』の翻訳について	<p>各 RTC で校正担当した箇所を、交換しさらに校正を進めている段階であると、事務局より報告が行われた。</p>

<p>2011 年度助成金応募状況報告</p> <p>(2) 申出書への対応報告</p> <p>(3) J-CAPTA に関連する報告</p> <p>(4) 管理部門報告 トレーナーの選考と評価に関する委員会</p>	<p>前回報告分(キリン福祉財団、阪急阪神未来のゆめ・まち基金))に加え、フィリップモリスと第 59 回リユース PC 寄贈プログラムの助成が決定した。2011 年度フィリップモリス助成については、両 RTC で話し合いの結果、予定額を同額ずつ分配し、CAP グループのとりまとめを各 RTC で行うことになった。ただし、今年度の全体のとりまとめ、助成元のフィリップモリスジャパン株式会社との窓口は引き続き CCJ 事務局が行い、今後については 5 月 23 日に予定している RTC 間協力会合で話し合うことになっている。</p> <p>前回理事会にて審議した申出書への返信内容を 3 月 17 日に送信し、受信したとの返事をいただいたと、事務局より報告が行われた。</p> <p>事務局より、以下の 3 点について報告が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生暴力防止プログラム養成有資格者養成講座(トレーナー資格を持つ人を養成する養成講座)の実施や受講者の要件について、RTC 相互のすりあわせを行なうために、J-CAPTA ならびに森田ゆりさんに問い合わせを行い、その返答を待っている段階である。 ・東日本大震災の J-CAPTA エリアの CAP グループの安否については、3 月 25 日に全メンバーに人的被害はなかったことが確認できたとの連絡をいただいた。CCJ ができるサポート、J-CAPTA からの要望について、J-CAPTA 事務局には尋ねており、今後ご提案いただくようお願いしている。 ・2011 年度の RTC 間協力会合は、5 月 23 日に CCJ エリア内で行うことになった。 <p>第 5 回委員会を実施し、理事会に提出された報告ならびに提案について、委員の理事長より報告が行われた。</p> <p>2010 年度のトレーナーの評価は、以下の方針のもと、提出された部門シート、個人シート、参考資料の 3 つの書類を材料として部門ごとに行った。各部門には、委員会からの提案を提出した。新任のトレーナーについては、経験を積み上げる機会をもつことが必要であり、そのために現状の 1 年ごとの更新ではない、更新期間という考え方を検討することも必要かという意見が出された。</p> <p>(評価に対する考え方・方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選抜するための評価ではなく、トレーニングをよりよいものにするために次年度にどのように活動してもらいたいかという観点とした。 ・チェックでなく、共に成長するための活動のフィードバックとして、2010 年度の活動の振り返りと 2011 年度に向けての課題という意味付けとした。
<p>【審議事項】</p>	
<p>(1) 管理部門 愛知県岡崎市における委託事業の契約について</p> <p>佐賀県佐賀市における CAP 活動について</p> <p>2011 年度覚書 (MOU) 案</p>	<p>行政側が 2011 年度 CAP プログラム実施委託事業に、NPO 法人と契約したい意向があるため、CAP センター・JAPAN と契約することができるかどうかを県内グループから打診があったことについて、事務局より提案が行われた。</p> <p><決議事項></p> <p>このたびの CAP プログラム実施委託事業について、CAP センター・JAPAN が契約を結ぶことを承認する。</p> <p>佐賀市の CAP プログラム実施委託事業の実態を明確にするため、さが CAP エリア連合として文書を交わし、佐賀市へ提出することになったので、文書案について事務局から提案が行われた。</p> <p><決議事項></p> <p>さがエリア CAP 連合覚書を承認する。理事会はコーディネーターに委嘱状を発行する。</p> <p>第 6 回運営委員会にて、「Memorandum of Understanding」の和訳を「覚書」</p>

<p>今後の事務局体制・事務局運営について</p> <p>(2)2011年度定時総会議案作成に向けて</p> <p>(3)総会議案について</p> <p>(4)アピール文の作成について</p>	<p>に改め、ほか意見の出された箇所等の表記を修正し、WS提供（実施・実践）について言葉を整理したので、運営委員会委員の横山理事より、覚書案の再提案が行われた。</p> <p><決議事項> 2011年度覚書を承認する。</p> <p>2011年度の事務局体制・運営についての事務局案が前回運営委員会で審議された。運営委員会委員の横山理事より、現事務局次長の長谷を事務局長とする事務局の新体制について提案が行われた。</p> <p><決議事項> 2011年度の事務局体制案について承認する。事務局長の交代は6月1日とする。</p> <p>運営委員会委員の横山理事より、総会までのスケジュールと当日の流れについて説明と提案が行われた。また、会員への送付資料について確認いただきたいとの提案があった。</p> <p><決議事項> 総会当日のスケジュールは以下のとおり、および送付資料について承認する。 13:00～14:20 第10回定時総会記念講演会「社会的養護の現状と課題」 15:00～17:30 第10回定時総会 17:50～19:30 集会「東日本大震災 わたしたちにできること」</p> <p>昨年度、議案書類とその参考資料について会員の方に混乱が生じたため、整理する必要がある。第1号議案の書類は事業報告、収支決算報告とし、第2号議案の書類は事業計画、収支予算とする。その他の、報告書、事業別収支計算書、運営方針・事業方針は参考資料とする。</p> <p>総会議案の概要は以下のとおり。 2010年度収支は、複数の講座の中止が余儀なくされ、養成体制の確立のため第1事業での旅費・交通費等がかさんだことが、収入減と支出増のおもな理由である。</p> <p>2011年度予算案は、収入は現在確定しているもの（助成金は確定分、出版物の予約冊数）や現状に即したかたちで計上し、支出は2010年度の状況を踏まえて計上している。第1事業の支出は、昨年度に引き続き養成体制の確立やトレーニング委員会の経費を計上しており、今後の投資として必要なものとする。</p> <p>2011年度事業計画案では、震災の影響を考え、当初関東で実施を予定していた講座の日程を延期するなど変更を行うことにしている。</p> <p>2012年度より、個人の方にも入会していただきやすくするために、個人の正会員費を10,000円に変更することを議案提出する。</p> <p><決議事項> 第10回定時総会で、第1号・第2号・第3号議案を提出することおよびその書類について承認する。 第1号議案 2010年度事業報告、2010年度収支決算報告 第2号議案 2011年度事業計画案、2011年度収支予算案 第3号議案 2012年度の正会員費（個人）の変更 参考資料として、報告書、2010年度事業別収支計算書、2011年度運営方針・事業方針を承認する。</p> <p><確認事項> 2011年度の理事会は、開催回数を減らす。</p> <p>総会で正会員と共有するためのアピール文について、運営委員会委員の横山理事より提案が行われた。</p> <p><決議事項> このたびの大震災に関する事項も盛り込んだアピール文を作成し、理事会MLで再確認を行う。</p>
--	---

【その他】	
(1)定款・細則を考える委員会	<p>前回の理事会での意見を取り入れ、2011年度覚書(MOU)に準じて、修正を行った。定款・細則を考える委員会委員の長谷より、細則と概説の再提案が行われた。</p> <p><決議事項></p> <p>文面について再度各理事が確認を行い、理事会 ML で承認作業を行うこととする。</p>
(2)2011年度理事会日程	<p>総会日に理事会は行わないこととする。今後の日程は理事会 ML で決定する。</p>
(3)東日本大震災への対応について	<p>理事会内でプロジェクトを作る。構成メンバーは、側垣理事長、家本理事、角田理事、島村理事、事務局員とする。</p>
(4)議事録署名人	<p>大野理事、田上理事</p>

議事要旨作成：長谷